資料５

フジイチ（富士山一周サイクリングルート）の ナショナルサイクルルート（NCR）指定について

令和８年９月１５日
静岡県交通基盤部道路局

フジイチ（富士山一周サイクリングルート）のNCR指定

- 本年7月、フジイチが**ナショナルサイクルルート** に指定！！




▲ 第３次ナショナルサイクルルート指定式





ナショナルサイクルルート（NCR）制度

○優れた観光資源を有機的に連携したサイクルツーリズムの推進により、日本における新たな観光価値を創造し、地域の創生を図るために、一定の水準を満たすルートを対象として「ナショナルサイクルルート」に指定する。
○ルートにおける取組の継続性を評価する必要があることから、新たなルートの指定の有無の確認については、国の自転車活用推進計画期間内に1回とし、3～5年ごとに実施する。

■ナショナルサイクルルートの指定要件

観点	指定要件
1. ルート設定	①サイクルツーリズムの推進に資する魅力ある安全なルートであること ・ルートの延長が概ね100km以上であること（島しょ部を除く） 他
2. 走行環境	①誰もが安全・快適に走行できる環境を備えていること ・矢羽根等により自転車通行空間が整備されていること 他
	②誰もが迷わず安心して走行できる環境を備えていること ・経路などの路面表示、案内看板が設置されていること 他 （単路部概ね5kmごと、すべての分岐部）
3. 受入環境	①多様な交通手段に対応したゲートウェイが整備されていること ・鉄道駅などに、レンタサイクルや着替え場所等が整備されていること 他
	②いつでも休憩できる環境を備えていること ・サイクルステーションがルート上に概ね20kmごとに整備されていること 他
	③ルート沿いに自転車を運搬しながら移動可能な環境を備えていること
	④サイクリストが安心して宿泊可能な環境を備えていること ・ルート直近にサイクリスト向けの宿泊施設が概ね60kmごとにあること 他
	⑤地域の魅力を満喫でき、地域振興にも寄与する環境を備えていること
	⑥自転車のトラブルに対応できる環境を備えていること
	⑦緊急時のサポートが得られる環境を備えていること ・救急車などが概ね2kmごとに到達できること 他
4. 情報発信	①誰もがどこでも容易に情報が得られる環境を備えていること ・ホームページなどで日英2か国語以上により情報発信をしていること 他
5. 取組体制	①官民連携によるサイクリング環境の水準維持等に必要な取組体制が確立されていること

■ナショナルサイクルルートの指定手続き

本部事務局による候補ルートの選定・公表

↓

第三者委員会による審査

↓

本部長による指定

↓

指定の効果

1. 国やJNTOによるプロモーション
2. 社会資本整備総合交付金等により、地域の取組に対して重点的に支援
3. ナショナルサイクルルートとしてのブランド価値の向上

地域による情報発信、ロゴマークの設置 等
ナショナルブランドを活用した誘客

国土交通省HPより抜粋

これまでに指定されたナショナルサイクルルート（NCR）

第1次指定（令和元年9月）	
しまなみ海道サイクリングルート（広島県・愛媛県）	70km
ビワイチ（滋賀県）	193km
つくば霞ヶ浦りんりんロード（茨城県）	176km
第2次指定（令和3年5月）	
トカプチ400（北海道）	403km
富山湾岸サイクリングコース（富山県）	102km
太平洋岸自転車道（千葉県・神奈川県・静岡県・愛知県・三重県・和歌山県）	1，487km
第3次指定（令和8年7月）	
ふくしま浜通りサイクルルート（福島県）	179km
フジイチ（山梨県・静岡県）	163km
雪国魚沼 Golden Cycle Route “GCR”（新潟県）	193km
いしかわ里山里海サイクリングルート（石川県）	517km
鳥取うみなみロード（鳥取県）	152km
あまいち（熊本県）	152km



フジイチ（富士山一周サイクリングルート）とは

- 山梨・静岡両県共通の地域資源である**富士山**を周遊するサイクリングルート
- 日本のシンボルである**富士山の雄大な景色**や、**神社等の世界文化遺産構成資産**など、サイクリストを魅了する多くのポテンシャルを活用し地域の魅力向上・地域振興に寄与

＜メインルート　管理者別内訳＞

管理者		路線名	延長（km）
静岡県	国	（国）138号 （国）139号	13.3
	県	（国）469号 （主）清水富士宮線 （主）富士富士宮線 （主）富士宮鳴沢線 （一）須走御殿場線	45.5
	市町	御殿場市道　8路線 小山町道　1路線	10.1
		計	68.9
山梨県	国	（国）138号 （国）139号	17.9
	県	（国）137号 （国）300号 （国）413号 （主）河口湖精進線 （一）青木ヶ原船津線　ほか　全12路線	65.1
	市町村	富士吉田市道 富士河口湖町道 山中湖村道 忍野村道　計４路線	11.0
		計	94.0



フジイチのナショナルサイクルルート指定までの取組

- 令和5年の協議会設立以降、山梨・静岡両県の関係者が協力し、ナショナルサイクルルートの指定要件を満足するための取組を推進

年　月	内　容	備　考
R5.8.31	ぐるり富士山サイクルツーリズム推進協議会　設立	
R5年度	ルート名称、ルート、ロゴマークを決定	
R6年度	ゲートウェイの選定、案内サインの検討	
R7年度	走行環境整備　や　受入環境整備　を推進	
R7.11.18	公式ポータルサイトを開設	
R8.1.23	多言語マップを作成	英語版：R8.2.18
R8.3.23	ナショナルサイクルルートの候補ルートに選定	
R8.5.28～29	NCR審査委員による現地視察	
R8.7.16	令和8年度第2回NCR審査委員会	令和7年度 第1回 R8.3.23 令和8年度 第1回 R8.4.23
R8.7.23	第3次 NCR指定、指定式	

官民連携協議会の設立

- 両県の地域づくり団体、サイクリスト、国・県・市町村などから成る「ぐるり富士山サイクルツーリズム推進協議会」を令和5年8月31日に設立し、取組体制を強化

民間団体　21団体
公益社団法人静岡県観光協会
静岡県東部地域スポーツ産業振興協議会
静岡県サイクルツーリズム協議会
スポーツタウン御殿場推進協議会 サイクルスポーツまちづくり部会
スルガ銀行株式会社
NPO法人地域づくりサポートネット
NPO法人日本風景街道コミュニティ
一般社団法人富士山観光交流ビューロー
富士急バス株式会社
一般社団法人富士五湖観光連盟
ふじさん甲斐道サイクリングスポーツ振興会
High Ambition
一般社団法人富士山国際観光協会
NPO法人富士山麓観光まちづくり研究所
富士山麓電気鉄道株式会社
株式会社モンベル
一般社団法人山中湖サイクリングチーム
山梨学院大学
株式会社山梨中央銀行
レバンテフジ静岡

（五十音順）

行政団体　14団体	
国の機関	甲府河川国道事務所 ／ 静岡国道事務所 ／ 沼津河川国道事務所
県の機関	山梨県・静岡県の観光・スポーツ・道路部局
市 町 村	沿線11市町村の観光・道路部局

民間・行政合わせ計35団体で構成



第１回協議会（富士宮市）

ルート名称とロゴマークの決定

ルート名称の決定

- 日本人、外国人双方に分かりやすい簡潔かつルートの特徴を表す名称を協議会で決定

フジイチ

名称の由来

- **富士山１周は、既に多くのサイクリストに人気があるサイクリングルートで、『フジイチ』の愛称で親しまれている。**
- **富士山を１周するサイクルイベントでは、『フジイチ』のイベント名称で多くのイベントが開催されている。**
- **海外サイクリストでも呼びやすい、また想像し易い。**

ロゴマークの決定

- ロゴマークは、350点を超える応募作品の中から、専門家評価などを踏まえ、協議会員の投票により決定

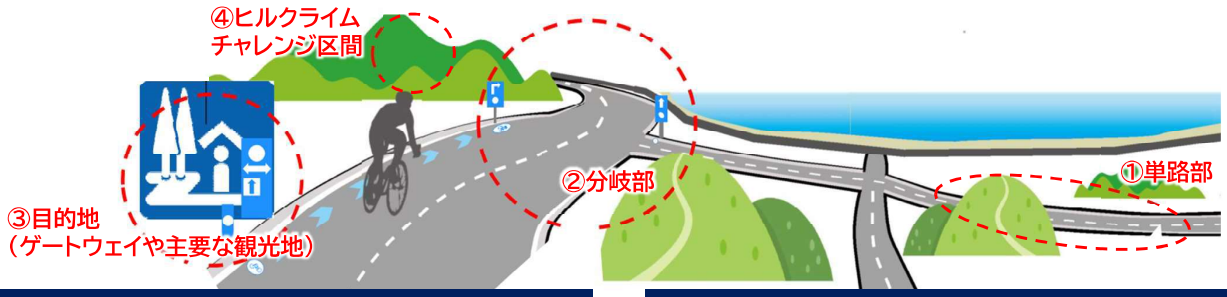
FUJIICHI
CYCLING AROUND Mt.FUJI

作成者コンセプト

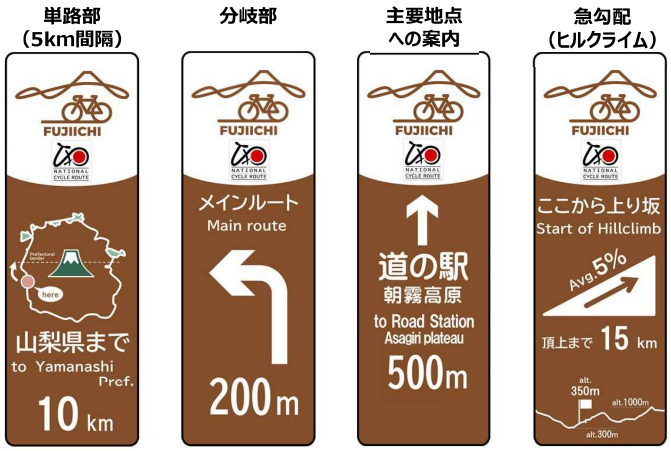
このロゴは、一筆書きで富士山と富士山をめぐるサイクリングルートを表現しています。一筆書きで描くことで富士山とサイクリングルートの一体感をイメージしています。シンプルなデザインでフジイチを瞬時に想起させ、視覚的な認識を高めることを目指しました。

案内サインの検討 （R6年度～R7年度）

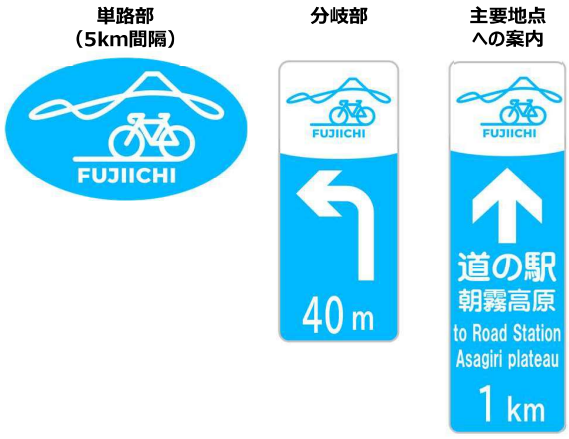
- 案内サイン（案内看板・路面表示）は山梨・静岡両県で統一したデザイン・ルールを定めた上で整備を推進



案内看板（メインルート）



路面表示（メインルート）



走行環境と受入環境の整備（概要）

走行環境の整備状況

（R8.6時点）

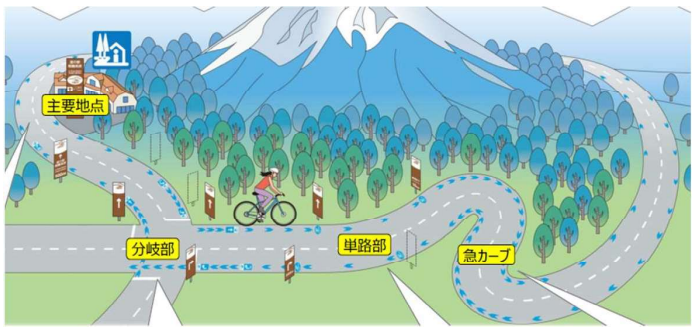
項　目		整備状況	備　考
矢羽根等	メインルート 162.9km	126.9km／78% 山梨県：66.9km／71% 静岡県：60.0km／87%	令和8年度末までに 162.0km／99% 整備予定
案内サイン	メインルート 98箇所	41箇所／42% 山梨県：4箇所 静岡県:37箇所	令和8年度末までに 97箇所／99% 整備予定

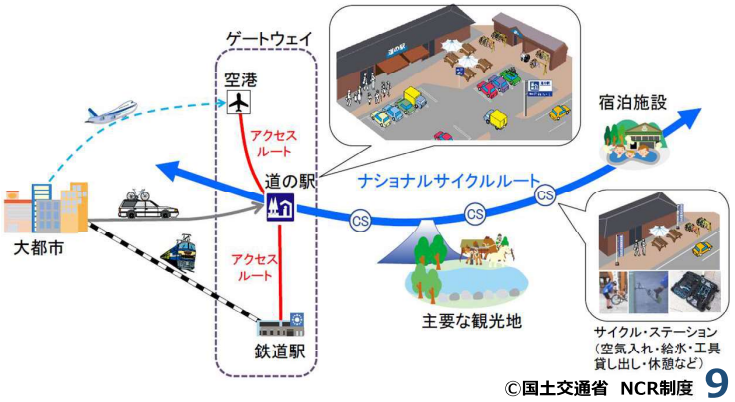
受入環境の整備状況

（R8.6時点）

項　目	箇所数	代表的な施設
ゲートウェイ	7箇所を設定 山梨県：2箇所 静岡県：5箇所	・道の駅 朝霧高原 ・JR御殿場駅　等
サイクルステーション	28箇所を登録 山梨県：7箇所 静岡県:21箇所	・富士ミルクランド ・富士山樹空の森　等
宿泊施設	9箇所を登録 山梨県:4箇所 静岡県:5箇所	・富士山こどもの国 等

走行環境の整備イメージ





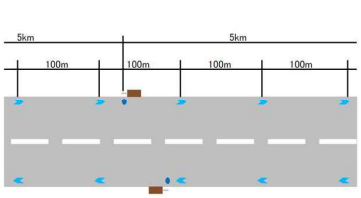
©国土交通省　NCR制度

走行環境の整備

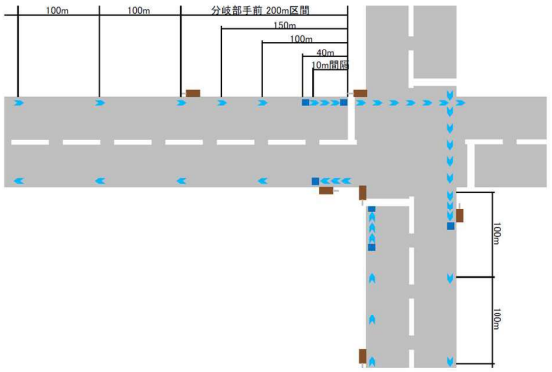
- 各道路管理者がルートの走行環境を整備

ルートにおける走行環境の整備方針（仕様）

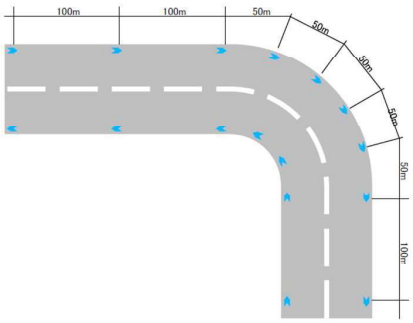
●矢羽根：100m間隔に設置
●案内看板･路面表示：5km間隔に設置



●矢羽根：100m間隔に設置＋交差点接近部で密に設置
●案内看板･路面表示：分岐手前,分岐直前,分岐直後に設置



●矢羽根：100m間隔に設置＋カーブ部で密に設置



ルートの整備状況


静岡県駿東郡小山町須走


静岡県富士宮市根原



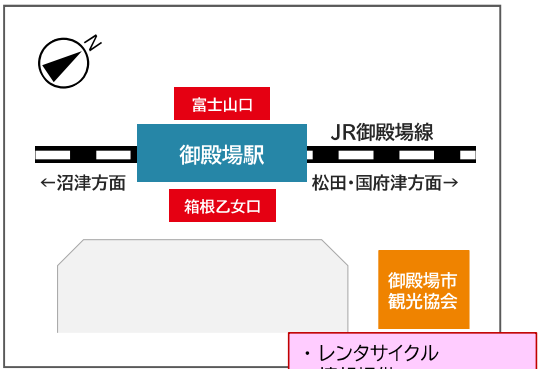
静岡県富士宮市上井出

ゲートウェイ　（例：JR御殿場駅（御殿場市））

- JR御殿場駅では、駅に隣接する御殿場市観光協会に様々な機能を集約整備



御殿場市観光協会



▲JR御殿場駅ロータリー図

・レンタサイクル
・情報提供
・物品の購入
・ロッカー／着替スペース
・空気入れ貸出し

御殿場駅（構内）



▲構内でのゲートウェイ案内


▲利用可能なコインロッカー

御殿場市観光協会


▲工具の貸出･物品の販売




▲情報提供･レンタサイクル


▲着替えスペース

サイクルステーション（休憩施設）（例：富士ミルクランド（富士宮市））

- サイクリストが休憩するための設備を備えたルート沿線の施設を協議会で認定



NCR要件（必須）
トイレが利用できること
空気入れの貸出しをしていること
水分補給（自動販売機・飲料水の提供）が可能であること
休憩スペース・設備（屋根付きのテーブル・椅子）があること
サイクルラックが設置されていること
必要な情報（ルートマップ、宿泊施設、サイクルステーション、見所、食事、緊急サポート）が入手可能なこと

水分補給（自動販売機）・トイレ





サイクルラック・休憩スペース（屋根付き）





情報発信



▼ 認定証



サイクリストに優しい宿（例：富士山こどもの国（富士市））

- サイクリストが安心して宿泊可能な環境を備えたルート沿線の施設を協議会で認定





NCR要件（必須）
室内（フロント、ロビー、客室等）で自転車の預かり・保管が可能であること
フロント等にて荷物の保管が可能であること
洗濯が可能であること

自転車の保管





荷物保管



洗濯可能



▼ 認定証



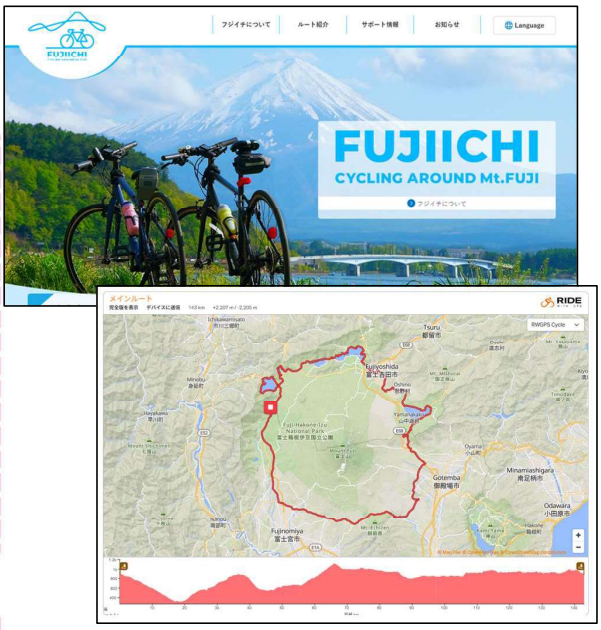
情報発信（多言語に対応したルートのPR）

- 情報発信のためのサイクリングマップ、ポータルサイトを作成・提供

サイクリングマップ（日本語版・英語版）



ポータルサイト（多言語対応）



▲ ポータルサイトはこちら

フジイチを活用した各種イベント等の取組



▲ FUNRIDE presents Mt.富士ヒルクライム



▲ スルガ銀行 presents 富士山１周サイクリング





▲ ぐるり富士山アドベンチャーツアー





▲「キャン×スポ@あさぎり」E-BIKE散走ツアー